



## 前期を振り返って

令和7年度の前期を振り返ってみると、様々な場面で成長の跡が見られます。

学校行事の運動会や精華祭では3年生を中心とした創意工夫のある活動により、ご来場の皆様にも大いに喜んでいただきました。仲間との絆を大切し、楽しい時間を全校生徒で共有しようとする様子から、開校以来続いている東中独自の校風を引き継ぐという大きな役割も果たすことができと感じます。11月には合唱コンクールもありますので、全員が同じ気持ちで練習に励んだり、意見の違いを話し合いで解決したり、一層、クラスや学年の絆を深めてほしいと思います。

部活動では、柔道部の活躍が目立ちました。東北大会の団体戦では、1回戦、2回戦、3回戦と勝ち上がり、準決勝では同じ秋田県の土崎中に敗れましたが、第3位という見事な結果でした。全国大会個人戦の1回戦では、井島来さんが内股で一本勝ちするなど、本荘東中学校柔道部の活躍が東北はもちろんのこと全国にも知れ渡ったことと思います。全県大会で目標とする結果を残せずに悔しい思いをした部活動、惜しくも全県大会出場や地区大会入賞を逃した部活動もありますが、特に3年生は、これまでの部活動における継続した努力は、心と体の大きな成長につながりました。

3年生の学習面での成果は、全国学力・学習状況調査に表れていました。8月の学校便りでお知らせしていますが、国語と数学ともに「知識及び技能」は全国、秋田県を上回る結果でした。先週の新聞で秋田県の国語は東京、石川と並び全国1位だと報道されていたので、その秋田県平均を上回っていることは学年全体として高い「知識・技能」が身につけていると言えます。しかし、「思考力・判断力・表現力」については国語・数学ともに全国、秋田県を下回る結果ですので、「思考力・判断力・表現力」を高めることを意識して今後の授業に取り組んでほしいと思います。特に、自分の考えを相手にわかりやすく伝える表現力は、高校入試の面接でも必要とされます。1, 2年生の学習の成果は12月に実施される秋田県学習状況調査に表れますので、一層真剣に授業へ取り組むとともに、基礎・基本を確実に身に付けるための継続した家庭学習の実践も必要となります。

交通事故防止については、7月から9月にかけて5件もの自転車事故が発生しており、今後、交通事故がまた起こってしまうのではないかと心配しているところです。2件の事故は、自転車側の不注意で起こった事故ですので、飛び出しをしない、スマホなどのながら運転をしないなど、常識として防ぐべき事故です。しかし、3件は車の運転者側の不注意が主な原因ですので、自分が気をつけていても交通事故は起こってしまうのが現状です。今後、交通事故に遭わないようにするためには、自分だけでなく、相手も安全確認をしていると判断できたときに道路を横断するなど、これまで以上に慎重な対応が必要です。自分は大丈夫などと過信することなく、交通安全への意識や自分の命を自分で守る意識を高めて交通事故に絶対遭わないように、ご家庭での指導もお願いいたします。

来年4月に本荘東小学校が開校します。約500名の小学生が、中学生とほぼ同じルートで登下校することになります。小学生が安全に登下校できるように気を配ってあげることや小学生の模範となるように交通ルールを守るなどが、中学生として今まで以上に大切になります。

後期も保護者、地域の皆様のご指導とご協力を何卒お願いいたします。